

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	滝川通園事業所たんぼの家（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の構造上非常に見通しが良く、職員相互の支援の状況が見やすい。1対1の支援が多い中でも応援に入りやすく、困りごとにも気づいてヘルプに入りやすい。 特定の職員が行き詰まる事を未然に防ぎやすい環境である。	仲間を呼ぶ・確認する・困った時に手伝う・協力を求める・交代するなどが日常的に行なわれており、職員同士のコミュニケーションが活発になる様になっている。	困りごとや疑問に思ったことを全員で考える時間を設ける。 また、それに参加するハードルを下げて議案を持ち込みやすい工夫が今後求められる。
2	地域的美容室やエステティシャン、音楽療法士など、事業所の持っていない機能について地域の協力が手厚く受けられており、事業所だけで完結することなく、地域全体で利用者さんの生活の質の向上が図られている。	ご協力頂ける個人や事業主の方々と直接コミュニケーションを取ることで、先方の都合の変化（繁忙の度合いや訪問条件の変化など）を知ることが出来る様にしている。時間とともに先方の状況は変わっていくので、それに合わせた条件を調整していくことで継続性が保たれている。	今後も地域の社会資源にアンテナを張り、技術・技能を持っている人、協力したいが相手とマッチング出来ない人となつなっていくように地域とのコミュニケーションを密に取れる様にしていく。
3	ヒヤリハットやインシデントの共有体制が定着し始めていることにより、起こった出来事に対する改善策が、早期に実行に移される頻度が高くなってきている。	リスク部会担当職員によるフィードバックと、ヒヤリハットの積み上げを積極的に行なって頂くことにしている。 また、対策方法を「気を付ける・気づける」などの個人的要因だけで完結させず、具体的かつ全体で行なう対応まで深めていく様に努めるようにしている。	現在は「起こったこと」に対する対応が主となっているが、今後は「まだ何も起きていないが気になっている事」にも着目して課題提起できる練習をすることで、チームとしてのリスク管理が向上していくと考えられる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族や第三者委員など、法人の役職員以外の方達によって事業所をありのままに見てもらい、評価してもらう機会が少ないように考えられる。	コロナ禍以降、感染予防の対策を優先していることでご家族参加型の行事が中止になることが続いており、そのぶんご家族が事業所内の雰囲気を知る機会が激減していることが挙げられる。第三者委員の訪問は遠方ゆえ中々日程を組めていないことも要因。	これまでの利用者行事だけではなく、ご家族同士が集まる行事の企画立案。また、ご家族が参画するイベント等を実施することで日々の利用者さんへの関わりを知ってもらう機会としてはどうか。また、第三者委員の事業所訪問の検討を行ない、書類や口頭の報告だけでなく、実際に見てもらって評価してもらう機会も必要と考えられる。
2	今年度から義務化された支援プログラムについての学習の機会が十分でない。児童福祉、保育分野の職員だけではなく多職種が勤務していることから、専門知識を全体にフィードバックする機会が不足している。	障害福祉・保育・看護など、それぞれの専門性を元に、内部で学習の機会を設定することが不足していることが要因と考えられる。	各職種により、自主的にテーマを設定しての内部研修会の企画を行なう等で、各職種の職員が「専門家ゆえに見えるもの」を共有する場面を作っていくことで全体の底上げにつながると考えられる。
3	医療的ケアを要する利用者の増加により、看護師の業務量が増加している。	指定基準以上の看護師配置をしているものの、重症心身障がい児への医療ケアの濃度やリスクを考慮すると、公休や休暇等で全看護師が揃わない時に、急激に負担増してしまう。大きなミス等は起こっていないが、当該職種の緊張感が高い。	指定基準ベースではなく、現在必要な医療的ケアの総量をベースにした看護体制を再検討すること。看護師しか行えないケアと他職種が協力できるケアの整理をすることで、業務量の軽減と、相互の「見える化」を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 滝川通園事業所たんぽぽの家（放課後等デイサービス）

公表日 令和 年 月 日

利用児童数 8名

回収数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			・自力で動ける児童には少し狭いかもしれない。	・夏季の戸外活動や、冬季のコミュニティスペースを活用した活動で、歩く、走るなどの機会を増やせるように検討します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	1		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				・事業所（たんぽぽ）はOK。療育園は少し厳しい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2		1	利用者の年齢が上がれば、兄弟姉妹の年齢も上がる。でも、イベントには制限あるものも多い。	感染症予防の対応で学齢期の兄弟姉妹の参加の制限が多くなってきた経緯があります。感染リスクは今後も熟慮しなくてはならないため、戸外や広い会場での実施とするなど、医師と相談して課題解決に努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1				

事業計画策定・実行・評価の進捗		公表日 年 月 日				
事業計画策定・実行・評価の進捗		はい	いいえ	実施していない点	課題や改善すべき点	
環境整備	1	利用定款が事業運営推進の基となるベースとなる機関で調整してある。	9	0		
	2	利用定款やその他の規程等に対して、機関の設置まで検討してある。	7	2		
	3	生活定款は、どこにもわかりやすく掲載された状態になっている。また、事業計画の策定に、関係機関に対して、（パブリシティ）等の関係連携、機関の整備と連携している。	9	0		
	4	生活定款は、清楚で、心強く読める状態になっている。また、どこか通読のしやすさを感じた点となっている。	9	0		
	5	必要に応じて、どこかの機関の調整や情報を見直すことが認められる状態になっている。	9	0		
事業改善	6	機関の改善を進めるためのQCAサイクル（目標設定→実行→評価）に、広く職員が参加している。	8	1		
	7	事業計画に評価により、改善等の内容を改善する機会を設けており、その内容を機関改善に反映している。	8	1		
	8	機関の改善を実施する機会を設けており、その内容を機関改善に反映している。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を機関改善につづけている。	3	6		
	10	機関の改善の向上を図るために、改善を実施する機会を法人内等で評価結果を共有する機会が確保されている。	9	0		
連携・交流の推進	11	連携・交流プログラムが作成、公表されている。	9	0		
	12	協会のどこかに利用して、利用プログラムを掲載している。どこにも、職員等のニーズや課題を掲載している。また、連携等プログラムに改善を反映している。	9	0		
	13	連携等プログラムに改善を反映する際には、改善実施と改善推進の両方を行っている。どこかの関係機関の職員が改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が改善推進の役割を担っている。	7	2		
	14	連携等プログラムに改善を反映している。計画に合った支援が行われている。	9	0		
	15	どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	7	2		
連携・交流の推進	16	連携等プログラムに改善を反映している。改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	8	1		
	17	連携プログラムの企画をチームで行っている。	8	1		
	18	連携プログラムの策定が、いまだ進んでいない。	8	1		
	19	どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	9	0		
	20	連携推進には関係機関で行うべきことがある。そのための改善の推進の役割を担っている。チームで連携して改善を行っている。	9	0		
連携・交流の推進	21	連携推進には、関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	8	1		
	22	どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	9	0		
	24	連携推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	8	1		
	25	どこかが自己認識できるとよき支援のためがある。自己決定をする者であるため改善を行っている。	9	0		
連携・交流の推進	26	連携推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。どこかの関係機関の職員が、改善推進の役割を担っている。	9	0		
	27	市場の発展、産業（生活圏で協力発展戦略）、環境福祉、教育、食料の確保戦略として支援を行う体制を整えている。	9	0		
	28	学校との関係強化、学童保育、行事支援等の実施、どこかの学校関係機関等、関係機関、ボランティア関係機関、支援関係機関				